

新年に当たり当協会の一つの重要な課題について述べたいと思います。当協会は創立60周年を迎えた2011年に日本学術会議から協力学術研究団体（いわゆる学会）の指定を受けています。当協会の正会員数は1万人を超え、規模では全国有数の学会と言えます。

もちろん学会になることを



## 学術的活動を活発化

日本測量協会

会長 清水 英範

分野の発展に寄与するさまざまな活動が盛んです。対して、また活動が鋭意行ってきました。その結果、学会の活動が徐々に充実してきました。学会として見ればまだ十分な点もあります。例えば測

量・地理空間情報系の関連学度を一歩上げ、関連学会も参加する測量系CPD協議会の運営も担っています。これらは伝統ある大学にも匹敵する活動であり、自負するところです。

これから日本測量協会は、会員の皆さまに当協会を学会としても十分に活用していただくよう、学術的な活動を活性化させていきます。資格制度やCPD（継続能力開発）制度をさらに充実させるなどして、関連学会への支援、協力体制を強化してまいります。

術士の国家資格を補う資格制